

10. 国際交流

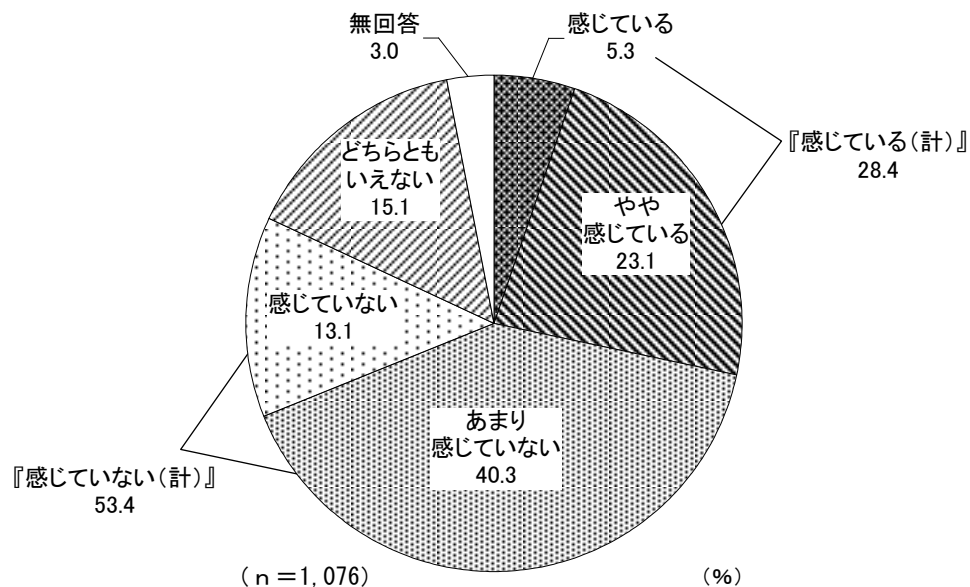
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割近く

問16 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

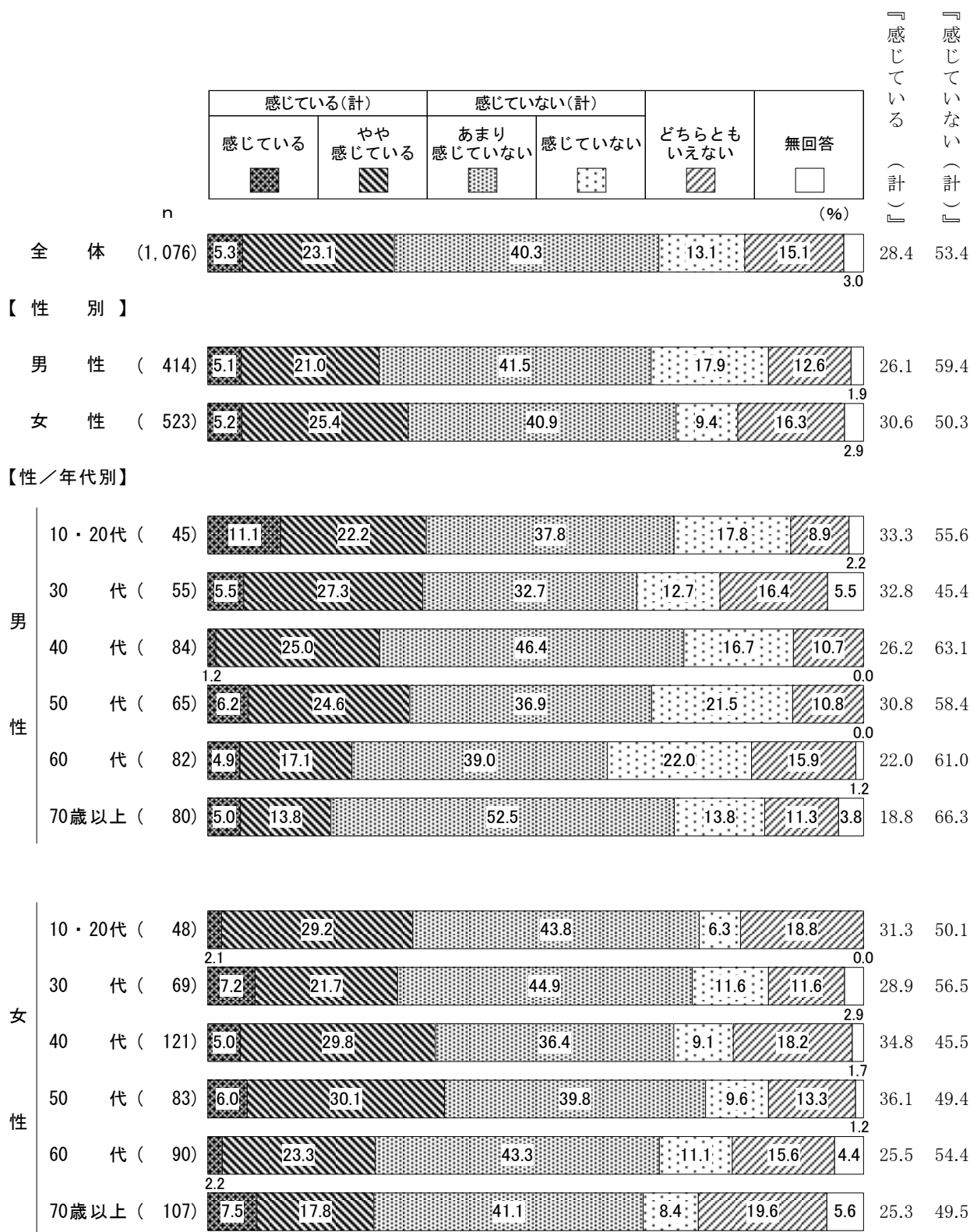
※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

図10-1-1



大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(5.3%)と「やや感じている」(23.1%)を合わせた『感じている(計)』(28.4%)は3割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(40.3%)と「感じていない」(13.1%)を合わせた『感じていない(計)』(53.4%)は5割を超えている。(図10-1-1)

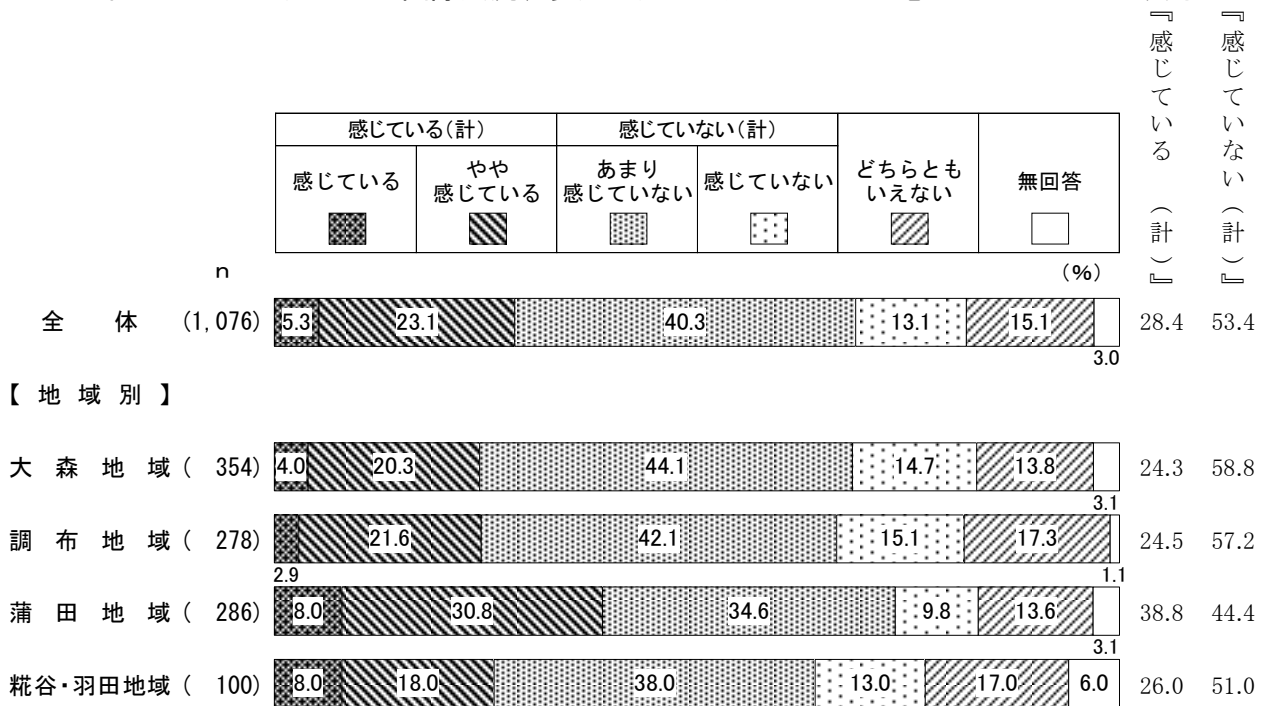
図10-1-2 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じている(計)』は女性(30.6%)が男性(26.1%)より4.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は女性の40代(34.8%)と50代(36.1%)で3割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性70歳以上(66.3%)で6割半ばと高くなっている。(図10-1-2)

図10-1-3 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(38.8%)で4割近くと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(58.8%)と調布地域(57.2%)で6割近くと高くなっている。

(図10-1-3)